

大田区立千鳥小学校 学校経営方針

大田区立千鳥小学校

校長 清水 みさ

1 学校経営の基本的な考え方

- (1) 子どもたちが分かる楽しさや、学ぶ喜びを感じられる授業を目指し、子どもたちに確かな学力の定着を図る。
- (2) 思いやりの心を育み、体力向上を図るとともに、基本的な生活習慣を身に付け、心身ともに健やかな子どもたちの成長を支援する。
- (3) 保護者・地域と連携をよりいっそう深め、信頼される学校づくりを行う。

2 学校経営の基本方針

(1) 学校の教育目標

人権尊重の精神に基づき、心身ともに健康で知性と感性に富み、郷土を愛し、郷土に貢献する心と国際感覚をもった笑顔あふれる児童の育成を目指し、次の目標を設定する。

- 心やさしく、じょうぶな子
- 進んで やりぬく子
- よく考え、工夫する子

(2) 目指す学校像

<心やさしく、じょうぶな子>…思いやりのある児童の育成とともに、体力の向上を図る学校

- ・個に応じた教育を推進し、児童一人一人のもっている「よさ」や「可能性」を最大限に発揮できる基礎となる力を育成する。確かな学力の定着を図る。
- ・人権教育を推進し、児童に思いやりの心を育み、いじめのない学校、安心して過ごすことができる学習環境をつくる。
- ・豊かな心を持ち、たくましく生きる児童を育成する。
- ・体育科の授業充実を図り、休み時間には体を動かし、体力を高める。

<進んで やりぬく子>…児童一人一人の学びを保障し、確かな学力を育てる学校

- ・基礎・基本の確実な定着を図るとともに、確かな学力を育成する。
- ・児童に「分かる喜び」を味わわせる授業を展開し、主体的に学習に取り組む態度を育成する。
- ・問題解決的な学習や体験学習を取り入れた授業を展開する。

<よく考え、工夫する子>…家庭・地域との連携を図り、児童が自ら考え、工夫する力を育む学校

- ・開かれた学校づくりを推進し、家庭や町会、自治会等と協働し、児童の健全な育成を目指す。
- ・ホームページの更新等を活用して家庭や地域に情報を発信し、地域に根ざした学校づくりを行う。
- ・家庭、地域とのつながりを大切にし、教育活動の充実を図る。
- ・「学校支援地域本部」（チーム千鳥地域協力隊）の協力を得ながら環境整備や学校行事のさらなる充実につなげる。

(3) 中期的な目標と方策

① 千鳥小学校の学校力の構築

- ・学びの充実を図り、児童一人一人に確かな学力を身に付けさせるために基礎・基本の徹底と学習意欲の向上を図る。そのためにも、校内研修・校内研究の充実、質的向上を図る。
- ・教員の指導力・授業力の向上を図るために、教員相互に学び合う場を設定し、組織力を高める。
- ・危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進め、安全・安心な学級、学校づくりを推進する。

② 地域に根ざした教育の充実

- ・学校支援体制の(チーム千鳥地域協力隊)の充実・発展を図るとともに、保護者、地域の協力を得ながら教育活動を推進する。
- ・児童が地域の歴史や伝統・文化、産業などについて理解を深め、郷土への愛着や誇りを育むことができるよう、体験学習等、計画的に実施する。
- ・保護者アンケートや外部評価を生かし、学校改善につなげる。

(4) 今年度の取り組みの重点

『「問い掛け」と「つながり」から ひろげる可能性』をスローガンに掲げ、自分自身への問い掛けや他者とのつながりを大切に、児童一人一人のよさや可能性を伸ばす。

① 指導力・授業力向上を目指した研究組織の構築

- ・「未来を切り拓く児童の育成～『おおたの未来づくり』に向けて～」テーマのもと、校内研究の充実を図る。外部講師による指導・助言を受け、学校全体で授業改善に取り組み、教員の授業力向上につなげる。

② 体力の向上と豊かな人間性の育成

- ・児童や学級集団の状況を教職員全体で共有し、適切な支援・対応につなげる。
- ・関係諸機関と連携するとともに、児童、保護者がより相談しやすい学校を目指す。
- ・児童理解の充実に向け、休み時間には教師も共に遊ぶ「とも遊び」の推進を図る。
- ・運動に日常化を図り、とともに、道徳教育を充実させ、規範意識を養う。

③ 地域環境を生かした特色ある教育の推進

- ・家庭、地域とのつながりを大切に、連携を密なものにする。
- ・「学校支援地域本部」(チーム千鳥地域協力隊)の協力を得ながら環境整備や学校行事のさらなる充実につなげる。

3 学校教育目標および経営方針の具現化

(1) 学年・学級経営、専科経営の充実

- ・学校経営方針に基づいた自己申告書の作成し、設定した目標の具現化するために環境整備と状況把握・改善を行う。
- ・教材研究を十分に行い、授業準備を整え、「分かる授業」づくり、授業改善を図る。
- ・教育課程の進行管理を行い、計画的な実践を通して、授業時数を確保する。
- ・安全に十分配慮した学習計画、行事計画等を立て、事故やけがの未然防止に努める。

(2) 学習指導の充実(主体的・対話的で深い学びの実現)

① 魅力ある授業の実践

- ・問題解決的学習、体験的な活動を取れ入れた授業を計画的に実施し、「問い」を引き出し、学ぶ意欲を高める。
- ・年間指導計画の見直しを図り、学習指導計画および一単位時間の授業の工夫・改善に努める。
- ② 多様な指導実践への取り組み
 - ・算数科（習熟度別指導）では、東京ベーシックドリル等を活用して学習の定着状況を把握し、個に応じた指導の充実を図る。
 - ・児童の体力の実態を把握し、「体力向上プログラム」を活用しながら年間指導計画を工夫・改善する。
 - ・タブレット端末等のICTを効果的に用いた授業を展開する。児童の情報活用能力を育成する。
- (3) 道徳科の授業の充実
 - ・日々の道徳科の授業の工夫・改善に努める。
 - ・道徳授業地区公開講座では、全学級授業公開を行い、協議会等の充実を図る。
- (4) 外国語活動の充実
 - ・ALTを活用した授業内容の充実、工夫・改善に努める。
 - ・英語カフェの効果的な活用を図る。
- (5) 生活指導・進路指導の充実
 - ① 個性の伸長、自信と意欲をもたせる教育の推進
 - ・教師が児童一人一人と向き合い、児童のよさや可能性を引き出せるようにする。
 - ・児童が自己肯定感を高め、よさを発揮し、他者のよさも認め合えるようにする。
 - ② 基本的生活習慣の定着と規範意識の醸成
 - ・「早寝・早起き・朝ごはん・あいさつ・宿題できたかな」の定着に向け、家庭と連携しながら年間を通じた取組を展開する。
 - ・「相手を見てあいさつができる子」の育成のために、教職員があいさつを大切にし、あいさつのよさを日常的に伝えていく。
 - ・家庭、地域、関係機関と連携を図り、児童の健全育成に努める。
- (6) 児童理解の充実と情報の共有化
 - ・毎週金曜日に生活指導連絡会を実施し、いじめ、不登校等、生活指導上の問題や支援が必要なケースについて共通理解を図り、指導・支援に生かす。
 - ・スクールカウンセラーと教員が連携し、児童の支援にあたる。
 - ・特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会の実施及び充実を図り、組織的に児童一人一人に支援を計画的に行う。
 - ・特別支援教室（サポートルーム）の巡回指導教員と連携を図り、巡回指導の内容が学級で般化できるように取り組む。

4 研修の充実

- (1) 校内研究の充実
 - ・「未来を切り拓く児童の育成～『おおたの未来づくり』に向けて～」を研究テーマとし、年4回の研究授業を実施する。研究を日々の授業に生かすとともに、令和7年度の「おおたの未来づくり」の円滑な実施につなげる。
 - ・地域の特色を教育資源とし、「もの」や「取組」を創造・発信する学習の土台を構築する。
- (2) 研修参加

- ・自己のキャリアプランに基づき、区教育委員会主催の研修会や教育研究会、東京都や国の研修会等への積極的に参加できるよう校内体制を整え、自己研鑽に励むことができるようにする。

5 学校運営の充実と組織の活性化

- ・主幹教諭、主任教諭、教諭、それぞれの職層が身に付けるべき力を明確に意識した自己申告の具体的目標を設定できるようにする。
- ・全ての教員が学校経営への参画意識をもち、「児童のため」という視点を大切にしながら、チームとして職務を進められるようにする。
- ・校務分掌等、教職員一人一人が役割を担い、組織的に指導・助言を受けながらスキルアップを図る。
- ・毎朝、専科教員が玄関、担任は教室で児童を迎え、児童とのつながりを大切にしながら、全職員の協力体制を強化し、きめ細かい指導・支援につなげる。

6 安心・安全な環境の整備

- ・毎月の安全点検について、分担場所を変更しながら実施し、新たな見方で危険個所の発見、早期対応を行う。
- ・看護当番が休み時間の最終状況を確認する。
- ・大きなけが、頭や顔のけがについては、直ちに管理職へ報告し、対応にあたる。
- ・関係諸機関と連携し、セーフティ教室等を実施し、事件・事故の未然防止に努める。
- ・授業中、教員が居ない場所で児童が活動することがないように、教職員で声を掛け合い援助する。

7 家庭・地域との連携

- ・学校公開や学校行事等、児童の活動を大勢の保護者や地域の方々に参観いただく機会を設定する。
- ・学校だより、学年だより、学校ホームページなどを活用し、積極的に学校の取組を発信する。
- ・アンケートや学校評価等を活用し、教育活動の見直しを図る。
- ・地域教育連絡協議会と連携を図る。
- ・PTA行事、2・6会の取組、地域行事へ参加と協力しながら、連携を図る。

8 学校予算の適正な編成と執行

- ・限られた予算を有効に活用するために、短期的・中長期的展望に立ち、予算編成、適正な執行をする。
- ・節電や用紙のリサイクルなど全教職員のコスト削減への意識を高め、実行する。

9 信頼される教職員

- ・服務規律を遵守し、教育公務員として自覚をもった行動をする。
- ・情報機器の活用や様々な教育課題への対応など、教員一人一人が自己研鑽を積み、実践に生かす。
- ・児童や保護者の相談を真摯に受け止め、対応にあたる。

10 その他

- ・読書活動の推進に向け、読み聞かせの実施、学校図書館の充実を図る。
- ・大森第七中学校との連携を図り、小中一貫教育を推進する。
- ・新聞を活用し、自分自身の考えや社会の様々な課題と向き合うことができるようにする。
- ・大田区小学生駅伝大会に向けて、児童が意欲的に取り組むことができるようにする。